

# 金属部会長便り(2025年4月号)

2025年4月1日発行(第45号) 田中和明個人の意見・感想で部会の総意ではありません。  
部会長便り第45号

## 1 直近の活動

3月2日(日) 幹事会

3月10日(月)金属部会春季講演大会企画シンポジウム「What's 技術士？」主催

3月15日(土) 第158回YES-Metals!「業務に役立つ3つのスキル(実用一点張りのノウハウ集)」

3月16日(日) 金属部会CPD技術セミナー「ショットピーニング」

3月20日(木) 第3回顧問会

3月23日(日) 金属部会定例会(3月度)

3月30日(日) 第26回企業内技術士勉強会

## 2 今後の活動予定(直近1ヶ月分)

### 4月

4月3日(木) 四部会合同若手(講演会打ち合わせ1)

4月5日(土) 一次合格者ガイダンス(部会から3名)

4月6日(日) 幹事会

(4月12日(土)四部会合同若手(講演会打ち合わせ2) 代々木倶楽部)

4月12日(土)「企業内技術士勉強会」(第26回目)

4月20日(日) 金属部会定例会(4月度) 北陸本部発信<<田中、松下、藤間も出ます。

CPD講演「アルミニウムのリサイクル」 荒城 昌弘 氏

4月24日(木) 四部会合同連絡会(8月の行事決定)

[田中のスケジュール4月](#)

## 3 部会四方山

できるもんですね。本当に感動しています。金属学会春季講演大会で金属部会が「企画シンポジウム」を開催するなんて無謀な試みが、3月10日行われました。学会のシンポジウムを技術士だけで固めて半日占拠しちゃったんです。そして、人もわんさかきてくれました。3日目最終日の午後だということで、大半の人は帰るタイミングでした。身内だけの出席者かなと覚悟を決めていたんですが、その通りになりました。終わった時は参加者四十数名全員が身内、同志ばかりでした。会場にいた人たちはみんな打ち解けてフランクなムードで聴いている側も、話している側もとってもやりやすいムードでした。▶今回のシンポジウムは、金属部会の総力戦でした。いろんなネットワーク、行動力を存分に発揮してくれました。中部本部の活性化幹事から紹介された和鋼博物館の館長さんは、「いいですよ、じゃあ新撰組の刀をお貸ししますよ」と近藤勇の脇差(これが結構重いんです。脇差は昔は戦場で敵の首を取る時に使うので太くできています)と沖田総士の刀(これが

軽くて結構短いんです)をお貸しくださいました。これだけでも、東京で展示会をしたら数千人は集められます。「本物で、展示物なんで気をつけてください」と言われましたが、女性副部会長の藤間くんが、自宅に送ってもらった刀を背負って電車に乗って会場に運び込みました。▶もちろん、大会事務局にも承諾を得たんですが、その事務局の皆さんも始まる前に押しかけてきて「沖田総士くんの刀には血糊が付いているんですか」など上から、下から観察していました。参加者の大学の教授も刀の前で興味津々です。観察してみると、学生や若い人は、クリアファイル目当てか本当に技術士になりたくて講演を聞きにきていて、6、7人いた大学教授は刀か玉鋼に興味が行ってました。女性教授なんて刀を抜いてポーズを付けていました。刀に触るのは女性参加者(2、3割はいました)が多かったですね。▶まあ、会合は41名参加と公式発表されています、これまでの学会のシンポジウムはほとんど身内ばかりの光景を見てきたのですが、外部の人が大勢いるのは新鮮な驚きでした。▶ビラを撒いたのも少しは効果がありました。200枚くらい作り初日のポスターセッションでPRしました。和鐵の手書きの絵も「これやばいですね」「チョーかわいい」などのリアクションがたくさんビラを配る時にあったそうです。初日のビラまきにも雪混じりのみぞれの中、大勢が駆けつけてくれました。和鐵は、夜の金属学会と鉄鋼協会の懇親会に出なければならぬので、時間まで大学の空き部屋で仕事をしていました。▶懇親会は、絶対に出るべきです。いろんな人と知り合いになる、というより、再会する機会です。今回のシンポジウム企画で、会場で何人もの人に「和鐵さんの昔のメルマガで勉強して・・・」という言葉を聞きました。

▶2月3月は本当に土日が技術士会活動で埋まっていました。これは、和鐵の年初の公約「一次試験受験生の3倍増計画」の一貫です。一次試験の申し込みは6月なので、4、5月もまだまだ新受験生へのアプローチは続きます。

## 4 和鐵管見 (40回目)

▶少しモチベーションが下り気味だ。どうでも良いことが気になる。文章を書けなくなりつつある。睡眠時間が増えてきた。昼間は眠い。PCの前に座ってもぼーとしている時もある。これはだいたい3月から4月にかけて起こる。▶技術士会から部会長へのいろんな資料の「だせだせメール」はまだ続いている。選挙もやっているようだ。でも、もうなんだか他人事のような感覚になっている。正直、別に技術士活動なんてしなくてもいいやという気になっている。▶すべてを投げ打って、どこかでポーと生きていきたい。そんなことをぼんやりかんがえている。やはり体調が変化しているのがわかる。▶細切れの夢をよく見る。元気だった頃のはつらつとした父親の夢を見た。笑い声が響く家族の夢だ。▶好きだったアマゾンプライムもネットフリックスも見ることがない。図書館から借りてきた本も積読だ。▶もちろん、こんな状態でも締切がやってきて、講演の日もくる。でもワクワク感や達成感もなくなってきた。▶食事もそうだ。別に美味しいものを食べたいわけではない。旅行も6月に計画していたものはキャンセルした。▶こういう状態の時にありがたいのは、勤めていることだ。やる気がなくても時間になるとやる気を出させてくれる。その場所に行けば会話せざるを得ない。職場で座っていると体調が回復する。体調が回復すると頭が回りだす。そうすると元気が復活する。▶とまあ、愚痴を書くのもあきた。もう

少し生産的なことに頭を使おう。例えばスマホのゲームに興じるとか。今回はメンタル的にしんどくなっている最近の脳内ジャンクを書き連ねてみました。